

2023年に竣工・開業した主な大規模複合施設

施設名・事業名 竣工・開業 事業主体 / 施工者 所在地	施設内容と特徴
<p>「羽田エアポートガーデン」 1月31日開業 住友不動産/住友不動産商業マネジメント/住友不動産ヴィラフォンテーヌ 大田区羽田空港2丁目7</p>	<p>羽田空港第3ターミナルに直結した大型複合施設（地上12階、延床面積約9万1500㎡）。2つのエアポートホテル（全1717室の大規模ホテル）と、物販・飲食・サービス等約80店舗からなる商業施設（店舗面積約7536㎡）、24時間営業の天望天然温泉、ホールや会議室のほか、羽田空港と日本各地を結ぶバスターミナルも整備</p>
<p>「東京ミッドタウン八重洲」 3月7日グランドオープン 八重洲二丁目北地区市街地再開発組合 中央区八重洲二丁目地内 他</p>	<p>地上45階・地下4階、高さ約240mの「八重洲セントラルタワー」と「八重洲セントラルスクエア」からなる大規模複合ビル（延床面積約28万9750㎡）。オフィス・商業・ホテル・バスターミナル・小学校・ビジネス交流施設・こども園などからなる。商業施設はB1～3階までの4フロアからなり、ジャパンプランドにこだわった全57店舗が集結。目玉は2階に誕生した「ヤエスパブリックスペース」。</p>
<p>「東急歌舞伎町タワー」（新宿TOKYU MIRANO 再開発計画） 4月14日開業 東急(株)/東急レクリエーション 新宿区歌舞伎町一丁目29番1号</p>	<p>国内最大級のホテル×エンタメ施設からなる超高層複合施設（地上48階・地下5階、高さ約225m、延床面積約8万7400㎡）。ホテル（BELLUSTAR TOKYO、HOTEL GROOVE SHINJUKU）、映画館（109 シネマズプレミアム新宿）、劇場（THEATER MIRANO-Za）、ライブホール（zepp shinjuku）、エンターテインメント&レストラン（歌舞伎横丁等）、ナイトエンターテインメント（zero TOKYO）など</p>
<p>「福岡大名ガーデンシティ」 6月8日グランドオープン 積水ハウスを代表企業とした5社でなる大名プロジェクト特定目的会社 福岡市中央区大名2丁目165番1、2及び3</p>	<p>天神ビッグバン再開発の先陣を切って誕生した複合ビル。地上25階・地下1階、高さ111m。延床面積約9万4000㎡。メイン棟の「福岡ガーデンシティ・タワー」に商業（ビオスクエア、飲食店等全18店舗）、高機能ハイグレードオフィス、世界最高級5つ星ホテル（ザ・リッツ・カールトンホテル）が入り、スタートアップ支援施設と連携した「コミュニティ棟」もある。芝生の広場は3000㎡の規模</p>
<p>「なんばパークス サウス」（難波中二丁目計画） 7月1日グランドオープン 南海電気鉄道/大成建設/ニッピ等 大阪市浪速区難波中二丁目</p>	<p>「なんばパークス」南側に誕生した新街区。施設はホテル2棟とオフィスビル1棟からなる。ホテルはタイの高級ホテル（センタラグランドホテル、515室）とライフスタイル型ホテル（ホテル京阪なんばグランド、227室）。オフィス（パークス サウス スクエア）は14階建てのビル。3棟に13ショップが出店（ショップ&バー11店舗・サービス1店舗・物販1店舗）。総エリア面積約8915㎡</p>

<p>「モユク サッポロ」(南2西3南西地区第一種市街地再開発事業) 7月20日開業 南2西3市街地再開発組合 札幌市中央区南2条西三丁目</p>	<p>サンデパート跡地に誕生した地上28階・地下2階、高さ約111mの再開発ビル。商業施設は地下2階～地上7階まで、9階～28階は大京のマンション(ライオンズタワー、133戸)。総合不動産会社のユニホーが運営する商業施設は、4・5・6階が都市型水族館(AOAO SAPPORO)、B2に飲食、B1にテイクアウトグルメと健康関連、1階にスイーツ等、2階に医療・銀行等、3階にホビー&グッズ</p>
<p>「道玄坂通(dogenzaka-dori)」(渋谷区道玄坂二丁目開発計画) 8月24日開業 パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス 渋谷区道玄坂2-25-12</p>	<p>文化村通り(旧ドン・キホーテ渋谷店跡地等)にオープンした大型複合施設(地上28階・地下1階、高さ115m、延床面積4万1767㎡)。1～2階のショップにはドン・キホーテの新業態店舗「ドミセ渋谷道玄坂通ドードー店」など12店舗出店、3～10階はオフィス、11～28階はホテル(ホテルインディゴ東京渋谷、全272室)。「道玄坂に通(みち)を拓く。上質な日常と刺激的な非日常が交差する。」がコンセプト</p>
<p>「ミュージックテラス」Kアリーナ横浜9月29日開業・ヒルトン横浜9月24日開業 ケン・コーポレーション/Kアリーナマネジメント 横浜市西区みなとみらい6-2-14</p>	<p>ミュージックテラス(街区名)はアリーナ棟「Kアリーナ横浜」(延床面積約5万3852㎡)・ホテル棟「ヒルトン横浜」(同3万4815㎡、339室)・オフィス棟「Kタワー横浜」(同約2万9716㎡、賃貸面積約1万5000㎡)からなる大規模複合開発。ミュージックテラスの核となるKアリーナ横浜は2万席を超える(座席数2万33席)世界最大級の音楽アリーナ。全席がステージ正面を向いた扇型の形状。飲食施設も充実</p>
<p>「虎ノ門ヒルズ ステーションタワー」(虎ノ門一・二丁目地区第一種市街地再開発事業) 10月6日開業 虎ノ門一・二丁目地区市街地再開発組合 港区虎ノ門一丁目、二丁目の一部</p>	<p>虎ノ門ヒルズのまちづくりは2014年に誕生した「森タワー」を皮切りに開発が進み、4棟目となるステーションタワー(地上49階・地下4階、高さ約266m、延床面積約25万3210㎡)の開業で、「国際新都心・グローバルビジネスセンター」が完成した。オフィス(面積約10万7000㎡)やホテル(約200室)、商業施設(店舗面積約1万1200㎡、ショップ&レストラン約70店舗)の他にも、新ビジネスやイノベーションを世界に向けて発信する拠点「TOKYO NODE」もある</p>
<p>「Forestgate daikanya ma(フォレストゲート代官山)」10月19日開業 東急不動産 渋谷区代官山20番</p>	<p>代官山至近に誕生した「MAIN棟」(地上10階・地下2階、延床面積約2万1096㎡)と「TENOHHA棟」(木造2階、延床面積約198㎡)からなる複合施設。建築家・隈研吾氏がデザイン設計を手掛けたMAIN棟は賃貸住宅・シェアオフィス・商業施設で構成され“職・住・遊 近接のライフスタイル”を提案。カフェとイベントスペースで構成されるTENOHHA棟はサステナブルな生活体験を提供する</p>
<p>「HANEDA INNOVATION CITY(羽田イノベーションシティ)」11月16日グランドオープン 羽田みらい開発 大田区羽田空港一丁目1番4号</p>	<p>旧羽田空港跡地に開発された日本初のスマートエアポートシティ。20年7月にまちびらき(一部先行開業)した。敷地面積約5・9ha、延床面積約13万1000㎡。研究開発施設・オフィス、先端医療センターなどの“先端”と、イベントホール、ホテル、日本文化体験施設、飲食店等の“文化”に関する施設が融合したまちとなっている。空港を一望できる「足湯スカイデッキ」が人気、イベントも数多く開催されている</p>

<p>「アミュプラザ長崎新館」11月10日開業（増床オープン） JR九州/JR長崎シティ 長崎市尾上町1番1号</p>	<p>「新長崎駅ビル」は増床オープンしたアミュプラザ長崎新館と既存のアミュプラザ長崎本館、22年10月に開業した高架下商業施設の長崎街道かもめ市場の3館の商業施設と、ホテル（長崎マリオットホテル）やオフィスからなる大型複合ビル（延床面積約10万2000㎡）。商業ゾーンの総営業面積は約4万7900㎡（うち新館は約2万1700㎡）、テナント数は3館合計で246店舗（うち新館は86店舗）</p>
<p>「麻布台ヒルズ」(虎ノ門・麻布台地区第一種市街地再開発事業) 11月24日開業 虎ノ門・麻布台地区市街地再開発組合 港区虎ノ門五丁目、麻布台一丁目および六本木三丁目</p>	<p>「ヒルズの未来形」となる麻布台ヒルズは約6000㎡の中央広場の周りに「森JPタワー」（高さ約330m、延床面積約46万1800㎡）、「レジデンスB」（同270m、同約18万5300㎡）、「レジデンスA」（同約240m、同16万9000㎡）の高層ビルと店舗やギャラリー等が入る「ガーデンプラザ」がある。商業の規模は店舗面積約2万3000㎡で、ラグジュアリーブランドや麻布台ヒルズマーケットなど約150店舗が集結（順次開業）。総延床面積約86万1700㎡、敷地面積約6万3900㎡</p>
<p>「COCONO SUSUKINO (ココノ ススキノ)」11月30日1stオープン・24年1月31日2ndオープン 東急不動産/竹中工務店/イトーヨーカ堂等 札幌市中央区南4条</p>	<p>すすきのの玄関口ススキノラフィラ跡地に竣工した複合商業施設。地上18階・地下2階、延床面積約5万3378㎡のビルにホテル（7～18階、SAPPRO STREAM HOTEL）、シネマ（5～7階、TOHO シネマズ、10スクリーン1732席）の他、B2～4階までに飲食・食物販・物販・サービス等85店舗が集結。“昼も夜も楽しめる居場所”を目指している</p>
<p>「Shibuya Sakura Stage (渋谷サクラステージ)」(渋谷駅桜丘口第一種市街地再開発事業) 11月30日竣工 渋谷駅桜丘口地区市街地再開発組合/東急不動産 渋谷区桜丘町123番ほか（地番）</p>	<p>渋谷駅南西部に広がる約2・6haの広大な敷地を一体的に整備。A街区に「SHIBUYAタワー」と「セントラルビル」、B街区に「SAKURAタワー」、C街区に「日本基督教団中渋谷教会」の教会等を建設。合計延床面積は約25万4620㎡。渋谷駅周辺開発で最大級の賃貸面積（約1万㎡）を誇るオフィス、渋谷駅中心地区で唯一となる住宅「ブランズ渋谷桜丘」も整備。SHIBUYAサイドとSAKURAサイドの低層階には商業施設が設けられる。店舗面積は約1万5200㎡、店舗数100店舗強。歩行者ネットワークが整備され回遊性・アクセスが向上する</p>
<p>「新綱島スクエア」(新綱島駅前地区第一種市街地再開発事業) 11月新築工事竣工 新綱島駅前地区市街地再開発組合/東急 横浜市港北区綱島東一丁目9番10号</p>	<p>新綱島駅直結の複合再開発ビル。高層棟と低層棟からなり、延床面積約3万7560㎡。低層棟の1～3階に商業施設、4～5階に横浜市港北区民文化センター「ミズキーホール」(約400席のホール)。高さ約100mの高層棟は約252戸の分譲タワーマンション「ドレッセタワー新綱島」と一部商業施設となる。商業施設の店舗面積約2580㎡、店舗数13店舗。商業施設部分は12月6日から順次オープン</p>
<p>「五反田JPビルディング」(五反田計画〈仮称〉) 12月11日竣工 日本郵政不動産 品川区西五反田八丁目4番13号</p>	<p>日本郵政不動産が旧ゆうポート跡地に開発した大規模複合施設。ホテル（14～20階、星野リゾートが運営）・オフィス（3～12階）・ホール&カンファレンス（3階、ホール約400席・カンファレンス約80席）・シェアオフィス（2階、約300席）・フードホール（1階、約300席）。建物規模は地上20階・地下3階、延床面積約6万9000㎡</p>

<p>「CeeU Yokohama(スイーユー ヨコハマ)」第1期10月27日、第2期11月27日、グランドオープン12月15日 イオンモール/ダイエー 横浜市西区南幸二丁目16-1</p>	<p>ダイエー横浜西口店が入る店舗併用住宅跡地に新設された建物（横浜ヴェールスクエア CeeU）を賃借しイオンモールが商業施設「CeeU Yokohama」をオープン。建物の規模は地上10階・地下1階、総賃貸面積約2万㎡。ダイエーが運営するイオンフードスタイル、総合家電専門店のエディオン、大型スポーツ店、美と健康の専門店等24店舗で構成。同じ敷地内にはUR都市機構の賃貸住宅（252戸）が入る「横浜ヴェールタワー」（地上22階・地下1階）が25年春竣工予定</p>
<p>「マールク新さっぽろ」12月完成（まちびらき）大和ハウス工業、大和リース等6者からなるコンソーシアム 札幌市厚別区厚別中央</p>	<p>2019年から開発を進めてきた分譲マンション・ホテル・商業施設・教育施設・医療施設等からなる大規模複合開発プロジェクト。約5万5700㎡（一部借地を含む）を有した敷地を2街区に分け、G街区に大学や専門学校等の教育施設、I街区に供用駐車場、医療施設4棟、分譲マンション、ホテル、商業施設を整備。商業施設は大和リースの「BiVi新さっぽろ」（地下2階・地上6階、延床面積約2万166㎡）がオープンし、スーパーや雑貨、飲食店等34店舗が出店している</p>

2024年に竣工・開業予定の主な大規模複合施設

施設名・事業名 開業・竣工予定 事業主体/施工者 所在地	施設の内容と特徴
<p>「先客万来施設(仮称)」2月1日開業 万葉倶楽部 江東区豊洲6丁目5番1号</p>	<p>豊洲市場場外エリアに開設される本施設は、商業棟「豊洲場外江戸前市場(仮称)」と温泉棟「東京豊洲万来倶楽部(仮称)」からなり、商業棟では豊洲ならではの新鮮な食材を活かした飲食・物販店舗を集積し、木造建築で江戸の古い街並みを再現したオープンモールを展開。温泉棟は専用トレーラーで箱根・湯河原温泉の湯を毎日運搬し、一日ゆっくり滞在できるくつろぎ空間を提供する。延床面積約3万3785㎡</p>
<p>渋谷二丁目17地区第一種市街地再開発事業「SHIBUYA AXSH(渋谷アクシュ)」5月末竣工・24年度上期開業 渋谷区渋谷二丁目100番地</p>	<p>渋谷駅東口エリアに賑わいをもたらす、ウェルネスの拠点となる施設を完成させる。地上23階・地下4階、高さ約120mのビルで延床面積約4万4500㎡。5～23階がオフィス（総賃貸面積約2万4950㎡）、1～4階が商業施設となり、1～2階に飲食店舗が集積され、4～5階にはウェルネスをテーマにオフィスサポートを資するテナントが入居</p>
<p>神宮前六丁目地区第一種市街地再開発事業「東急プラザ原宿「ハラカド」」春開業予定 渋谷神宮前六丁目1000番</p>	<p>表参道と明治通りが交差する神宮前交差点にできる、新たな文化発信拠点となる商業施設。地上10階・地下2階、延床面積約1万9940㎡。ハラカドの中核となる3階にクリエイターズプラットフォームが誕生し個人や企業が集い、新しい文化を創造し、世界に向けて発信できる機能を実装。地下1階に銭湯が開業予定。6階に飲食・フードコート</p>

<p>新生「中日ビル」 春グランドオープン 中部中日本ビルディング社/中日新聞社 名古屋市中区栄4-1-1</p>	<p>1966年に竣工した中日ビルを建替えてオープンする新生中日ビルは地上33階・地下5階、高さ約158m、延床面積約11万7000㎡。高層階(24～32階)にホテル(ザロイヤルパークホテル アイコニック名古屋)、中層階(9～22階)に栄エリア最大級のオフィス、低層階にショップ&レストラン(B1～5階、7階)、中日ホール&カンファレンス(6階)、屋上広場(7階)等で構成される</p>
<p>梅田三丁目計画(仮称)「JPタワー大阪」 24年3月竣工・商業施設 24年7月開業 日本郵便/JR西日本/大阪ターミナル/JTB 大阪市北区梅田三丁目2番4号他</p>	<p>旧大阪中央郵便局跡地を含む大阪駅西地区で開発を進めている大規模複合施設。商業施設・劇場・ホテル・オフィスからなり、建物規模は地上39階・地下3階、高さ約188m、延床面積約22万7000㎡。商業施設の「KITTE 大阪」はB1～6階に入り、観劇後の飲食やショッピング、ホテル滞在者のお土産購入、オフィスワーカーのランチ・アフターファイブなどに対応する</p>
<p>「横浜シンフォステージ(YOKOHAMA SYMPHOSTAGE)」 春竣工予定 大林組を代表企業とする5社共同企業体 横浜市西区みなとみらい五丁目1番1 他</p>	<p>みなとみらい53街区に開発されるオフィス主体の大規模複合施設(敷地面積約2万600㎡、延床面積約18万3000㎡)。ウエストタワー(地上30階・地下1階、高さ158m)とイーストタワー(地上16階・地下1階、高さ約90m)の2棟となり、ウエストタワーは高層部にホテル、上層部にオフィス、低層部に店舗等、イーストタワーの上層部はオフィス、低層部はオープンインベーションスペースや店舗となる</p>
<p>「ゆめが丘ソラトス」(ゆめが丘大規模集客施設) 夏開業 相鉄アーバンクリエイティブ/相鉄ビルマネジメント 横浜市泉区</p>	<p>相鉄いずみ野線ゆめが丘駅前に建設される横浜市泉区内で最大となる交流型商業施設。街区面積約4万3000㎡、延床面積約9万6800㎡、店舗面積約4万2700㎡。テナントは約140店舗が出店予定。屋上には子育て世代が交流できる場となる約3000㎡の広さの遊具付き公園が配置され、10スクリーンの大型シネコンも開設される</p>
<p>「ステーションヒル枚方」(枚方駅周辺地区第一種市街地再開発事業の第3区) 夏頃から順次開業 枚方駅周辺地区市街地再開発組合(京阪グループが組合員) 枚方市新町一丁目、岡本町及び岡本町 地内</p>	<p>京阪グループが区分所有する第3工区であるステーションヒル枚方は枚方駅前の一等地に開発される。商業・オフィス・ホテル・住宅・行政等の機能を備えた「職・住・遊」が融合した複合施設。延床面積約9万4000㎡。29階建ての住宅棟は賃貸住宅、地上26階建て、高さ約126mの高層棟にはオフィス、ホテル(カンデオホテルズ)が入る。商業エリアには核テナントとしてバンダイナムコアミューズメントの屋内アスレチック施設の他、京阪グループの京阪ザ・ストアの新コンセプトスーパーマーケット、京阪百貨店のコスメ専門ショップが進出する</p>
<p>「所沢駅西口計画」 秋開業 西武鉄道(西武リアルティソリューションズ)/住友商事 埼玉県所沢市東住吉10番</p>	<p>西武鉄道所沢車両工場跡地を含む周辺一体で進められている土地区画整理事業地区内の約3万4000㎡の敷地に広域集客型の商業施設を開発。店舗面積約4万3000㎡の商業フロア4層に所沢初・西武鉄道沿線初を含む約150店舗のテナントを集積。約1700台収容の駐車場も併設。フードコート、シネマ(12スクリーン・1800席)、広場空間等を設け、寛げる、遊べる空間とし、東口で運営する駅ビル「グランエミオ所沢」(店舗面積約1万8500㎡)との違いを明快にする</p>

<p>「イノゲート大阪」(大阪駅新駅ビル計画〈仮称〉) 秋開業 西日本旅客鉄道/大阪ターミナルビル 大阪市北区梅田3丁目</p>	<p>大阪駅西側開発エリアに誕生するイノゲート大阪は駅直上という圧倒的利便性ある立地。地上23階・地下1階、高さ約120m、延床面積約6万440㎡の規模で、オフィスエリアと飲食店舗を中心とする商業エリアからなる。12～22階がオフィスフロア、11階に貸会議室、9～10階にフレキシブルオフィス、6階にワーカーの日常をサポートするラウンジ、カフェ、物販、3～5階が飲食店舗になり、海外有名レストランから大阪の老舗、路地裏の名店まで多彩な店舗をラインアップする</p>
<p>「グラングリーン大阪 (GRAND GREEN OSAKA)」(うめきた2期地区開発事業) 9月先行まちびらき 三菱地所を代表企業とするグラングリーン大阪開発事業者JV9社 大阪市北区大深町内</p>	<p>グラングリーン大阪は旧梅田貨物駅の跡地(敷地面積約9万1150㎡)に開発される大規模複合開発。27年までにオフィス、ホテル、住宅、商業施設、MICE、都市型スパ等に加え、世界最大級規模(約4万5000㎡の面積)の都市公園「うめきた公園」が完成する。南街区賃貸棟の東棟と西棟と、北街区賃貸棟への3つの進出ホテル(合計1042室)が決まり24年度下期開業、分譲マンション「ザ ノースレジデンス」(総戸数484戸)は24年2月販売開始。先行まちびらきするのはうめきた公園(サウスパーク全面・ノースパークの一部)及び北街区賃貸棟</p>
<p>「長崎スタジアムシティプロジェクト」10月14日グランドオープン ジャパネットホールディングス/リージョナルクリエーション長崎 長崎市幸町</p>	<p>ジャパネットグループがサッカースタジアムを中心に、アリーナ、オフィス、商業施設、ホテル等の周辺施設を民間主導で開発しているプロジェクト。スタジアムをはじめアリーナ、ショッピングモール、ホテル、オフィスの5つの棟からなり、延床面積約19万4000㎡。PEACE STADIUMは約2万席を有し、プロサッカークラブ「V・ファーレン長崎」のホームスタジアム。賃貸オフィスは1フロア640坪強のメガフロア。約6000席が完備された長崎ヴェルカのホームアリーナは多機能・可変型。ホテルは日本初のスタジアムビューホテル</p>